



公益財団法人櫻谷文庫

公益財団法人櫻谷文庫

2019 年度(平成 31 令和元年度)事業報告



公益財団法人 櫻谷文庫 令和元年度事業報告

1. 公益目的事業:今期に実施した公益目的事業は次の通り(公1事業)

例年実施している2019年3月2日～4月7日および2020年3月7日～3月29日「今小路連携春の特別公開など一般公開を行った。2019年及び2020年春の公開は桃の節句をテーマに、併せて写生、習作などを展示した。



一般公開

2019年度(平成30年度)の通年の公開入場者数は、976名で一日平均入場者数は39名と2013年以降最も少なかった。2013年から2019年までの公開事業における来場者数推移から、他施設との連携公開およびこれに関わる各メディアによる櫻谷の紹介が来場者増加につながっていることが分る。推移は以下の通りである。

櫻谷文庫 公開事業 来場者実績推移(2013年度～2019年度)

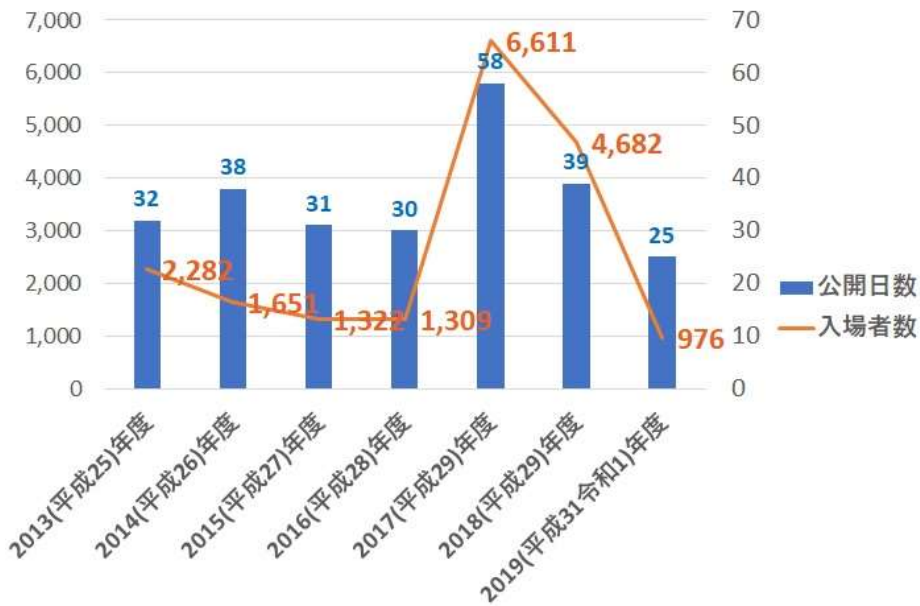
	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(平成31 令和1)年度
公開日数	32	38	31	30	58	39	25
入場者数	2,282	1,651	1,322	1,309	6,611	4,682	976
平均入場者	71	43	43	44	114	120	39

昨年度末に新型コロナウイルス感染症拡大もあり2020年3月には来場者には手指消毒、マスク着用などを要請していたが、来場人数は大きく減ることとなった。

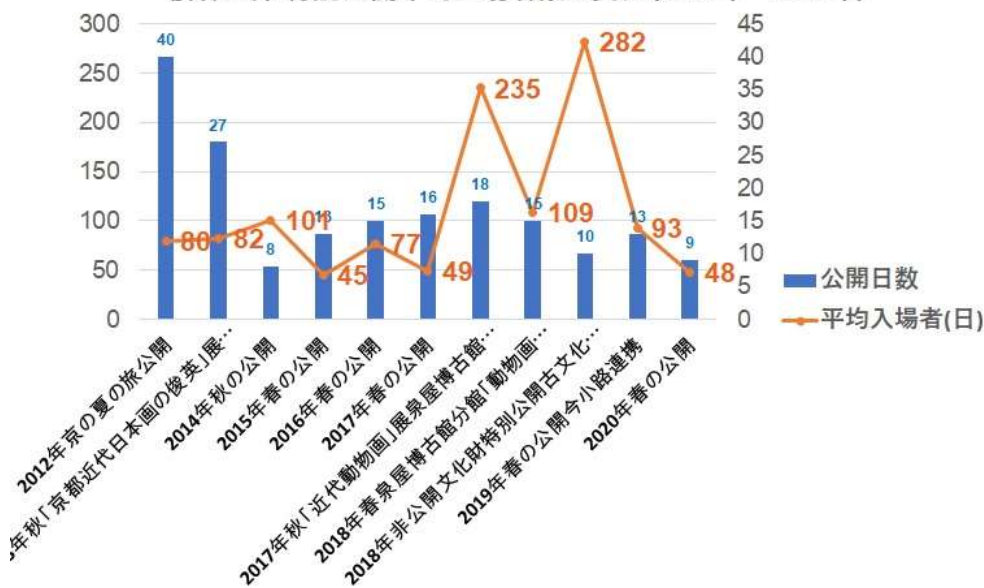


公益財団法人櫻谷文庫

櫻谷文庫 公開事業来場者実績 (年度別)



櫻谷文庫 特別公開平均入場者数の変化(2012年～2020年)



	2012年京の夏の旅公開	2013年秋「京都近代日本画の俊英」展泉屋博古館共催	2014年秋の公開	2015年春の公開	2016年春の公開	2017年春の公開	2017年秋「近代動物画」展泉屋博古館京都文化博物館三館連携公開	2018年春泉屋博古館分館「動物画展」・今小路連携	2018年非公開文化財特別公開古文化保存協会共催	2019年春の公開今小路連携	2020年春の公開
公開日数	40	27	8	13	15	16	18	15	10	13	9
平均入場者(日)	80	82	101	45	77	49	235	109	282	93	48
入場者数	3,214	2,219	806	581	1,148	791	4,227	1,630	2,817	1,213	430



新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントの中止

- ① 櫻谷文庫春の公開の一部中止 4月4日、4月5日、4月11日、4月12日
- ② 京都市観光協会 京の冬の旅 日本画を描こうワークショップ、3月15日中止

収蔵品修復・調査

収蔵品補修

収蔵品の内欠失など物理的な損傷が著しく、作品が不安定な状態であることから、早急に修理処置を行う必要がある3点、櫻谷筆 絹本墨画烏図掛幅装1幅、伊藤若冲筆 紙本墨画鯉図掛幅装1幅、櫻谷筆 紙本墨画峽中の秋大下絵1点掛幅装2幅、下絵1枚の装丁の解体を含む保存修理を実施するにあたり墨仙堂に見積を依頼した。見積金額は869,546円。本事業をすすめるにあたり京都府社寺等文化資料保全補助金を申請した。

書簡のデジタルデータ化継続(泉屋博古館と共同)

櫻谷収集の収蔵品資料について、国登録有形文化財(美術工芸品)の登録に向け、泉屋博古館学芸課と共同で櫻谷文庫収蔵品の調査、整理、データベース作成をすすめている。(共催事業) 軸、写生帖、習作は終了し、膨大な量の書簡のデジタル化を進めている。

櫻谷文庫所蔵の、櫻谷が使用した顔料、膠ほかの画材 分析、調査(泉屋博古館、京都市立芸術大学と共同 継続)

第41回文化財保存修復学会にてポスター発表(2019年6月22日 帝京大学八王子キャンパス) 「木島櫻谷遺品岩絵具の色と化学組成」(高林弘実(京都市立芸術大学)、紀 芝蓮(京都市立芸術大学)、田口 肇((地独)京都市産業技術研究所)、島村哲朗((地独)京都市産業技術研究所)

木島櫻谷遺品岩絵具の色と化学組成

◎高林弘実¹、紀芝蓮¹、田口肇²、島村哲朗²
¹京都市立芸術大学、²(地独)京都市産業技術研究所

1. 研究の背景と目的

近代に使用された岩絵具の化学組成を明らかにすることを目的として、明治から昭和にかけて京都画壇で活躍した木島櫻谷(明治10年-昭和13年)の遺品画材から分析試料を採取して理化学分析を実施した。

2. 研究対象—木島櫻谷の遺品画材

公益財団法人櫻谷文庫には、櫻谷が遺したものと考えられるガラス容器、紙の包み、紙袋、紙箱に入った粉末状の物質が、約500点保管されている。これらには販売元・商品名・価格が記載されたものがある一方、毛や糸くずが含まれているため絵皿に残った絵具を回収したのではないかと考えられるものもある。これらの化学組成を明らかにすることを目的として、448点から分析試料を採取した。

3. 研究方法

全試料について

- 光学顕微鏡観察
- 蛍光X線分光分析 (XRF)
Thermo Fisher Scientific Niton XL3t
- 可視反射分光分析

粒子が粗く
Cuを主元素
としない試
料を選別
(51試料)

選別した試料について

- XRFによる半定量分析
島津製作所EDX-800HS 管球Rh He雰囲気FP法
- X線回折法(XRD)による結晶構造の同定
リガク製UltimaIV CuK α 線 $\theta/2\theta$ スキャン



図1 (a)木島櫻谷、(b)櫻谷文庫和館押入れ棚、(c)画材類

第42回文化財保存修復学会(2020年6月20日21日 熊本城ホール)で同氏らによる群青を中心とした近代日本画につかわれた群青の化学分析について口頭発表の予定であったが新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が中止になり、電子資料での発表となった。



研究発表プログラム (予定)

(◎代表研究者)

口頭発表

セッションⅢ

座長：荒井 経 (東京藝術大学)、吉田直人 (国立文化財機構)

口頭 10 近代日本画に使われた群青の化学組成

◎紀 芝蓮 (京都市立芸術大学)、高林弘実 (京都市立芸術大学)、

田口 肇 ((地独) 京都市産業技術研究所)、島村哲朗 ((地独) 京都市産業技術研究所)

令和2年度以降の洋館改修工事開始のための事前調査

一級建築士事務所特定非営利活動法人古材文化の会設計室に委託し洋館破損調査を実施した。2019年7月1日から2020年2月29日まで19回の調査を行い報告書を受領した(要旨は別紙)。事業費 1,866,240 円 (京都市補助金 840,000 円、櫻谷文庫 1026,240 円)

調査結果に基づいて、洋館の破損工事計画推奨仕様および概算見積を受領した。推奨工事計画概算見積は、第1期工事(屋根工事、外構工事等)15,312,671 円、第2期工事(左官工事等)11,954,497 円、第3期工事(左官工事等)10,931,956 円。

櫻谷文庫関連情報の発信

Facebook、Twitter など SNS、既存メディアを通じておこなった(独自事業)

木島櫻谷の墳墓の維持管理

木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施した。

櫻谷作品等の情報

以下の2点を見学した。



蓬萊山(右隻)



福田大観(北大路魯山人)刻「聾廬」



公益財団法人櫻谷文庫

櫻谷作品が展示された展覧会

9月29日まで 東京藝術大学美術館「円山応挙から近代京都画壇へ」展 しぐれ



9月26日から10月27日まで 泉屋博古館分館「住友財団修復助成 30年記念特別展 文化財よ、永遠に」展 かりくら



10月1日から11月18日 福田美術館「開館記念 福美コレクション」展 駅路之春(うまやじのはる)、遅日



11月2日から11月24日 京都国立近代美術館「円山応挙から近代京都画壇へ」展 山水図(万壑烟霧ばんかくえんむ)



1月29日から3月1日(新型コロナウイルス感染拡大により会期短縮) 福田美術館「美人のすべて」展 婦女図屏風(婦女四趣)





2. 収益事業等 今期実施した収益事業等は以下の通り(収1、他1)

- (1) 洋画家茨木捷彰氏の主宰する美術教室茨木絵画教室に画室をアトリエとして、また整美体操教室、(講師:井上敦子氏)に旧画室を教室として提供した(収1事業)。
- (2) 学校法人ヴィアートル学園と連携し、教育活動への協力をすすめた(他1事業)。

3. 処務の概要

1. 役員に関する事項

役名	氏名	現職
評議員	森藤昌和	学校法人ヴィアートル学園 理事
評議員	松本史郎	グローバル法律事務所 弁護士
評議員	水原 厚	水原司法書士・土地家屋調査士・行政書士事務所 所長
評議員	上田 文	美術研究家 立命館大学アートリサーチセンター客員協力研究員、関西学院大学 同志社女子大学非常勤講師
評議員	秋山 悟	元 協和発酵工業(株)常務取締役
評議員	西尾孝彦	元 鹿島建設(株)専務執行役員
代表理事	門田 理	(株)テクノコンサル・ソリューションズ 代表取締役
理事	門田 理	(株)テクノコンサル・ソリューションズ 代表取締役
業務執行理事	門田 節	(公財)櫻谷文庫 職員
理事	平野重光	美術史研究家 元 京都市美術館学芸課長 元 倉敷芸術科学大学教授
理事	三澤信吾	青木一雄法律事務所 弁護士
理事	茨木捷彰	画家 茨木絵画教室主宰
理事	木島温夫	滋賀大学名誉教授
監事	秋山哲	(公社)日本イスラエル親善協会 元代表理事、元(株)毎日新聞社 常務取締役
監事	吉田靖司	吉田会計事務所 代表



2.職員に関する事項

職務	氏名	就任日	担当事務	手当	備考
事務	門田 節	平成 18 年 4 月 1 日	経理事務・庶務	8 万円	月額

3. 契約に関する事項

無し

4. 寄付金に関する事項

川口洋之助氏 100 万円 門田理氏 67 万円

5. 令和元年度主要な行事

2019年度

理事会 2019年6月8日 平成30年度事業報告及び決算承認の件

理事会 2019年6月22日 代表理事業務執行理事退任承認、同選定の件

評議員会 2019年6月22日 平成30年度事業報告及び決算承認の件

役員の退任、選任の件

定款第 19 条変更の承認

理事会 2020年3月11日 令和2年度事業計画及び予算承認の件

評議員会 2020年3月18日 令和2年度事業計画及び予算承認の件